



# あいじつ



開校 144周年

## 「とんかつにはソース? それとも?! ~多様性を受け入れる~」

校長 水野 睦子

2015年7月、バンコク日本人学校6年1組教室、ランチタイムでのこと。

Hさん：「W、とんかつに何をかけているの?」（神奈川県出身）

Wさん：「味噌だよ。」（愛知県出身）

Hさん：「えーっ、とんかつにはソースでしょ。」

Wさん：「えーっ、とんかつには味噌でしょ。」

Hさん：「水野先生はとんかつに何をかけますか?」

水野：「私はソースだけど、愛知は味噌かつだよ。八丁味噌を使った味噌煮込みうどん、味噌おでん、どて煮も有名だよ。」（富山県出身）

私が3年間勤務したバンコク日本人学校は当時、小・中学生合わせて約3千人の児童・生徒が通学しており、1番多かったのが愛知県からで、北海道から熊本県まで、全国から集まっていました。ですから、日々の生活の中で、「これまで当たり前と思っていたことが、当たり前ではない。」ということに直面するのです。会話の続きです。

Aさん：「私のおばあちゃんはお醤油。何にでもお醤油だよ。」（岐阜県出身）

Hさん：「へー、いろいろなんだね。面白い。僕も今度味噌で食べてみよう。」

Wさん：「食べたら、感想を聞かせて。もしかしたら味噌派になっちゃうかも。」

こうしたことが、DIVERSITY（多様性）であり、多様性を受け入れるということだと実感しました。違うということは大変なこともあります。しかし、違うから面白い、違うからこそ新しいものが生まれるのだと思うのです。愛日小学校の子どもたちには、違いを大切にできる子ども、違いを面白いと思える子ども、違いを受け入れる子どもになってほしいと願っています。9月30日（月）の全校朝会では、タイの映像も流しながら、子どもたちに多様性について話をします。「まずは、席が隣や前後の友達との関係からスタート!」と伝えようと思っています。その日の給食は、タイ料理のタイ風スープカレー、ヤムウンセン、マンゴープリンを提供します。

さあ、長い夏休みが明け、2学期がスタートしました。学校に子どもたちの元気な声に戻ってきたことをうれしく思います。教職員一同「チーム愛日」として、子どもたちの『楽しい&幸せ』な学校生活のために全力で取り組んでまいります。2学期も、本校教育活動に対してご理解・ご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

### 小中連携について

小中連携担当 橋本 亜沙美

今年度も互いの学習を知ることで、子どもの学びを連続的に捉え、小学校から中学校の学習へのスムーズな移行を図ることや生活指導などにおいても継続的な支援体制づくりを図ることを目的とし、牛込第三中学校、江戸川小学校、津久戸小学校と連携して、教育活動を行っています。6月は、牛込第三中学校へ授業参観に行きました。卒業生の生き生きとした学習風景を見ることができました。また、11月には、小学校での学習風景を中学校の先生方に参観してもらい、3月には、6年生が中学校での体験入学を行います。その他、地域の行事や学校行事での交流や会議等を定期的に行い情報交換をしていき、子どもたちのより良い学習環境づくりに繋げていきます。

### コース別集団下校訓練について

生活指導 富樫 孝太郎

本校では、非常時に児童が安全に行動するための訓練を、年間を通して行っています。その一環として、同じ方向に住む児童が同時に下校することでお互いが顔見知りになり、非常時に安全を確保する大切さを知る学習の機会を設けています。

道路歩行の際の安全上の問題など、4月末に実施した1回目の反省を踏まえて、2回目も以下の通り集団下校を行います。詳細は後日配布致しますお便りをご覧ください。

保護者の皆様には、児童の下校を見守っていただき、非常時における安全な下校について学習できるよう、御配慮、御協力をお願いいたします。

日時 9月27日(金) 5校時